

各 位

送付書類の説明

平素より大変お世話になっております。

「第6回高校生サイエンス研究発表会」開催に関する書類を送付させていただいております。
ご査収の程、よろしくお願いいたします。

書類

1. 開催のお知らせ 校長先生 宛
2. 開催のお知らせ 自然科学系部活動顧問, 理科・数学科・情報科教諭 様 宛
3. 開催のお知らせ 総合的な探究の時間担当教諭 様 宛
4. 開催のお知らせ 保健委員会担当教諭 様 宛
5. 開催のお知らせ 家庭クラブ担当教諭 様 宛
6. 別紙様式1(参加申込み)・記入例
7. 別紙様式2(発表要旨)・記入例
8. 研究分野の記入について
9. 第5回発表会の実施状況/成績

第6回高校生サイエンス研究発表会 2024

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、オンライン発表会（Zoom発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学・社会科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究やデータサイエンス関連の研究などを審査対象としています。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、貴校教員（理科・数学科・情報科教員、総合的な学習の時間担当者、保健委員会担当者、家庭クラブ担当者等）へのご案内と生徒の参加について御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom発表）

- (1) 日程 令和6年3月12日(火)～15日(金), 18日(月)～19日(火), 21日(木)～22日(金)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、K P法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて第4回、第5回の発表会の概要、発表校の全要旨を閲覧することができます。

第5回高校生
サイエンス研
究発表会概要



第4回高校生
サイエンス研
究発表会概要



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町 22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室 10281, 東京都文京区湯島 3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町 601
- (2) 日程 第一薬科大学 令和6年3月17日(日) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
日本薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
横浜薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備 9:00～）
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを1つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(火)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月5日(火)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。スライドやポスターのPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

7 その他

- オンライン発表（Zoom発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線 352）、跡部秀之（内線 372）

令和6年1月15日

自然科学系部活動顧問，理科・数学科・情報科教員 殿

第一薬科大学 学長 都築 仁子
「公印省略」

第6回高校生サイエンス研究発表会 2024

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、オンライン発表会（Zoom発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学・社会科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究やデータサイエンス関連の研究などを審査対象としています。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom発表）

- (1) 日程 令和6年3月12日(火)～15日(金)，18日(月)～19日(火)，21日(木)～22日(金)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内，質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表，KP法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表，電子黒板や書画カメラを利用した発表など，柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて第4回、第5回の発表校の全要旨を閲覧することができます。

第5回高校生
サイエンス研
究発表会概要



第4回高校生
サイエンス研
究発表会概要



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281，東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (2) 日程 第一薬科大学 令和6年3月17日(日) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
日本薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
横浜薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間，質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを1つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学，横浜薬科大学，第一薬科大学の先生が，研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は，2月20日(火)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は，3月5日(火)までに送信してください。
- 送信先は，事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom発表）は，通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。
スライドやポスターのPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は，発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学，日本薬科大学，横浜薬科大学

7 その他

- オンライン発表（Zoom発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352），跡部秀之（内線372）

第6回高校生サイエンス研究発表会 2024

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、オンライン発表会（Zoom発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学・社会科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究やデータサイエンス関連の研究などを審査対象としています。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom発表）

- (1) 日程 令和6年3月12日(火)～15日(金)、18日(月)～19日(火)、21日(木)～22日(金)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、K P法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて第4回、第5回の発表会の概要、発表校の全要旨を閲覧することができます。

第5回高校生
サイエンス研
究発表会概要



第4回高校生
サイエンス研
究発表会概要



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281、東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (2) 日程 第一薬科大学 令和6年3月17日(日) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
日本薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
横浜薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを1つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(火)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月5日(火)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。スライドやポスターのPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

7 その他

- オンライン発表（Zoom発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352）、跡部秀之（内線372）

第6回高校生サイエンス研究発表会 2024

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、オンライン発表会（Zoom発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学・社会科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究やデータサイエンス関連の研究などを審査対象としています。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom発表）

- (1) 日程 令和6年3月12日(火)～15日(金)、18日(月)～19日(火)、21日(木)～22日(金)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、K P法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて第4回、第5回の発表会の概要、発表校の全要旨を閲覧することができます。

第5回高校生
サイエンス研
究発表会概要



第4回高校生
サイエンス研
究発表会概要



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281、東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (2) 日程 第一薬科大学 令和6年3月17日(日) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
日本薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
横浜薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを1つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(火)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月5日(火)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。スライドやポスターのPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

7 その他

- オンライン発表（Zoom発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352）、跡部秀之（内線372）

第6回高校生サイエンス研究発表会 2024

オンライン発表会 & ポスター発表会 開催のお知らせ

新春の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、高校生のプレゼンテーション能力向上と研究・開発への意欲向上とを目的とした標記発表会を、オンライン発表会（Zoom発表）とポスター発表会（対面発表）の両方で開催致します。
本発表会は、自然科学系の部活動・授業科目の研究に加え、総合的な探究の時間・保健委員会・家庭クラブ等の総合科学・応用科学・社会科学の研究や開発、SDGs・地域課題の研究やデータサイエンス関連の研究などを審査対象としています。
つきましては、趣意をご理解いただくとともに、関係生徒の参加について御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 オンライン発表会（Zoom発表）

- (1) 日程 令和6年3月12日(火)～15日(金)、18日(月)～19日(火)、21日(木)～22日(金)
希望日時をお聞きして調整・確認のうえ決定します。審査開始時刻は10:00～とします。
- (2) 発表 Zoomによる発表と質疑応答（発表6分以内、質疑応答3分程度）
発表方法は任意です。プレゼンテーションソフト画面を共有しての発表に限定しません。
ポスターをライブカメラで撮影しての発表、K P法（紙芝居プレゼンテーション法）での発表、電子黒板や書画カメラを利用した発表など、柔軟な発想での発表を歓迎します。
- (3) その他 右のQRコードにて第4回、第5回の発表会の概要、発表校の全要旨を閲覧することができます。

第5回高校生
サイエンス研
究発表会概要



第4回高校生
サイエンス研
究発表会概要



2 ポスター発表会（対面発表）

- (1) 会場 第一薬科大学 福岡市南区玉川町22-1
日本薬科大学 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281、東京都文京区湯島3-15-9
横浜薬科大学 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
- (2) 日程 第一薬科大学 令和6年3月17日(日) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
日本薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
横浜薬科大学 令和6年3月20日(水・祝) 開会 9:30～（ポスター準備9:00～）
- (3) 発表 ポスター発表と質疑応答（発表6分間、質疑応答3分間）
縦180cm・横90cmのスペースを1つ準備します。長机は使用可能です。電源はありません。
- (4) その他 参加申込校には、要項（会場・日程等の詳細）をお送りします。

3 審査

- 審査項目は別添資料に記しています。日本薬科大学、横浜薬科大学、第一薬科大学の先生が、研究内容に加え研究へのパッションや発表態度も評価します。

4 参加申込みと発表要旨の提出について ※E-mailにより提出してください

- 事務局の第一薬科大学のHP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)から別紙様式1（参加申込）と別紙様式2（発表要旨）を参考資料とともにダウンロードして活用してください。
- 別紙様式1（参加申込）は、2月20日(火)までに送信してください。
- 別紙様式2（発表要旨）は、3月5日(火)までに送信してください。
- 送信先は、事務局 跡部宛 E-mail (koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp) です。

5 発表原稿等の提出について

- オンライン発表会（Zoom発表）は、通信回線の状況により図や文字の判別が困難な場合もあります。スライドやポスターのPDF等を事前（発表日前日まで）に送信してください。
- ポスター発表は、発表当日に会場までご持参ください。

6 主催 第一薬科大学、日本薬科大学、横浜薬科大学

7 その他

- オンライン発表（Zoom発表）は発表日時の調整とともにZoomの接続確認を事前に行います。
- 当日の発表動画や撮影した写真を報告書・HP等で利用する可能性があります。御了解ください。
- 問い合わせ先 高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学） [TEL:092-541-0161](tel:092-541-0161)
担当：森永 紀（内線352）、跡部秀之（内線372）

発表要旨

※3月5日(火)締切

	都・道 府・県	学校名	〇〇〇〇高等学校
発表題目			
研究グループ(詳細)	〇〇〇 ()		
研究分野(分科・細目名)	分科 () 細目名 ()		
研究者氏名	〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇		
要旨			
目的・背景			
研究・開発へのパッション			

※ポイントになる図や表があれば別途添付されても構いません。

※様式は事務局 HP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>) よりダウンロードできます。下記メールにて依頼されればメールでお送りします。

高校生サイエンス研究会事務局(第一薬科大学)跡部宛

E-mail:koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp

発表要旨

※3月5日（火）締切

福岡	都・道 府・  県	学校名	〇〇〇〇〇〇高等学校
発表題目		25文字程度で	
研究グループ（詳細）		申込書の記入例のコメントを参考にしてください。 特に（詳細）はなるべく詳しく書いてください。	
研究分野（分科・細目名）		文部科学省の系・分野・分化・細目表から一番当てはまりそうな分野を選んでください。見つからない場合は空白で構いません	
研究者氏名		〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇	
<p>要旨</p> <p>※発表しようとしている内容の主要な点を200文字程度にまとめてください。現在、研究中や開発中のものはその旨を明記の上、期待される結果や開発物の特徴を記入して下さい。</p> <p>例文：我々は、ごみ受けの形状と排水性の関係性を調べ、より効率の良いごみ受けを開発することを目標に研究を行った。研究の結果、最適なごみ受けの穴の形状は、本実験において円形の穴で3個が最適。穴の形状が正方形において、大きさは大きすぎても、小さすぎても排水効率が低下した。今後、最も排水効率の良かった円形でも実験を行う。円形も、正方形と同様の結果になることが想定される。ごみ受けを流れる流体の粘度が高いと、排水効率が低下する。</p>			
<p>目的・背景</p> <p>※研究や開発の目的（ねらい）、背景または仮説について200文字～400文字程度記述してください。なお、SDGsに係わる研究や開発の場合は17の目標（複数可）とともに、その旨記述してください。</p> <p>例文：浴槽の水やバケツに汲んだ水などを大量に流す際、一緒にごみを流しても排水管の詰まりを防止するごみ受けを付けたままでは、すばやく排水する事ができない。また、近年多発しているゲリラ豪雨による住宅浸水など、身近な日常生活の出来事から災害にまでごみ受けは深く関わっている。そのため、排水効率を少しでも向上させる事で、日常生活を豊かにし、災害を最小限に抑えられる。さらに本実験の結果は水中の現象としてだけでなく、空気中などの様々な流体においても同様の事が言え、社会を豊かにすることができるのではないかと考え本実験を行うこととした。</p> <p>さらには、<u>SDGsにおいて11番「住み続けられるまちづくりを」14番「海の豊かさを守ろう」</u>を目標として研究を進めた。11番では、排水効率を向上させることでごみ受けを多くの排水口に設置してもらい、下水道管の劣化や詰りを軽減することができる。14番では、今日世界中で大きな問題となっているマイクロプラスチックの海洋流出においても、排水効率を向上させることでごみ受けを多くの排水口に設置してもらい、ごみ受けを設置せず排水口に流れ込んでいたプラスチックごみの海洋流出を防止できると考え本実験を行った。</p>			
<p>研究・開発へのパッション</p> <p>※研究テーマに興味を持った理由、開発テーマへの意気込みや、発表者自身が面白いと思う研究・開発のイチオシポイントを200文字程度で表現して下さい。</p> <p>例文：ごみ受けの抵抗の主な要因は、穴の外周（断面）部分での抵抗だと考え、穴の面積を大きくして面積当たりの穴の外周部分を小さくすると、排水口の面積当たりの抵抗部分が小さくなり、排水効率は良くなると予想したものの、実験をしてみると穴の大きさがある一定の大きさを超えると、排水効率は悪くなった。この結果から、私たちはごみ受けの抵抗の主な要因は、穴の外周（断面）部分だけでなく、そのほかの要因があると考えた。それは、排水時にごみ受けの上部に発生する渦の存在である。渦が排水口上部に発生した場合、排水される速度が遅くなる。このことから、穴の大きさは小さいと穴の面積当たりの外周部分が大きくなり排水効率は悪くなる。逆に穴の大きさが大きすぎても、穴の上部に渦が発生し排水効率は悪くなることが分かった。</p>			

※ポイントになる図や表があれば別途添付されても構いません。

※様式は事務局HP (<http://www.daiichi-cps.ac.jp>)よりダウンロードできます。下記メールにて依頼されればメールでお送りします。

高校生サイエンス研究会事務局（第一薬科大学）跡部宛

E-mail:koudai-ichiyaku@daiichi-cps.ac.jp

<研究分野の記入について>

研究分野（分科・細目名）については、下記QRコードで文科省科学省 HP の「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧サイトに入って、自分たちの研究や開発がどの分野に最も近いのかを考えて記入してください。

※下表は文科省科学 HP の「系・部・分科・細目表」からの抜粋です。

分科	細目名
情報学	情報学基礎
	ソフトウェア
	知能情報学
神経科学	神経科学一般
人間医工学	リハビリテーション科学・福祉工学
健康・スポーツ科学	身体教育学
	スポーツ科学
	応用健康科学
生活科学	生活科学一般
	食生活学
環境学	環境影響評価・環境政策
	環境技術・環境材料
ナノ・マイクロ科学	ナノ材料・ナノバイオサイエンス
社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム
	自然災害科学
生物分子科学	生物分子科学
資源保全学	資源保全学
地域研究	地域研究
ジェンダー	ジェンダー
芸術学	芸術学・芸術史・芸術一般
文学	日本文学
言語学	日本語学
	日本語教育
	外国語教育
文化人類学	文化人類学・民俗学
経営学	商学
社会学	社会福祉学
心理学	実験心理学
教育学	教科教育学
	特別支援教育
数学	代数学
	幾何学
	数学一般(含確率論・統計数学)
天文学	天文学
物理学	数理物理・物性基礎
	生物物理・化学物理
地球惑星科学	固体地球惑星物理学
	気象・海洋物理・陸水学
	地質学
	層位・古生物学
	岩石・鉱物・鉱床学
基礎化学	物理化学
	有機化学
	無機化学
材料化学	機能材料・デバイス
	有機工業材料
	無機工業材料
	高分子・繊維材料
応用物理学・工学基礎	応用物性・結晶工学
	応用物理学一般
	工学基礎
機械工学	機械材料・材料力学
	流体工学

分科	細目名
電気電子工学	電力工学・電力変換・電気機器
	電子・電気材料工学
	電子デバイス・電子機器
	システム工学
土木工学	土木材料・施工・建設マネジメント
	構造工学・地震工学・維持管理工学
	土木環境システム
建築学	建築構造・材料
	都市計画・建築計画
材料工学	金属物性
	無機材料・物性
プロセス工学	化工物性・移動操作・単位操作
	生物機能・バイオプロセス
総合工学	リサイクル工学
	エネルギー学
基礎生物学	生態・環境
	植物分子生物・生理学
	形態・構造
	動物生理・行動
	生物多様性・分類
生物科学	構造生物化学
	機能生物化学
	細胞生物学
	発生生物学
人類学	自然人類学
	応用人類学
農学	育種学
	作物学・雑草学
	植物病理学
	応用昆虫学
農芸化学	植物栄養学・土壌学
	応用微生物学
	応用生物化学
	食品科学
森林学	森林科学
	木質科学
水産学	水産学一般
農業工学	農業土木学・農村計画学
	農業環境工学
畜産学・獣医学	畜産学・草地学
	応用動物科学
境界農学	環境農学
基礎医学	応用分子細胞生物学
社会医学	環境生理学(含体力医学・栄養生理学)
看護学	公衆衛生学・健康科学
	基礎看護学
	臨床看護学
	生涯発達看護学
	地域・老年看護学

「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧↓



第5回高等学校生サイエンス研究発表会 概要

発表日 令和5年3月13日(月)～17日(金), 19日(日)～23日(木)

審査対象 68校 エントリー演題243件

※31の都道府県の学校に参加していただきました

学校名	演題数	生徒数
01 市立札幌開成中等教育学校	10	48
02 県立釜石高等学校	1	3
03 仙台市立仙台青陵中等教育学校	3	3
04 県立鶴岡南高等学校	1	2
05 県立緑岡高等学校	1	4
06 県立下館第一高等学校	1	4
07 土浦日本大学中等教育学校	1	1
08 県立本庄高校	1	1
09 県立大宮高等学校	1	1
10 県立熊谷西高等学校	5	11
11 細田学園高等学校	2	9
12 山村国際高等学校	3	6
13 市川高等学校	4	4
14 都立八王子東高等学校	1	1
15 都立向丘高等学校	1	1
16 都立小石川中等教育学校	7	7
17 都立多摩科学技術高等学校	8	20
18 文京学院大学女子高等学校	2	6
19 県立横浜緑ヶ丘高等学校	1	5
20 県立柏陽高等学校	1	1
21 県立平塚中等教育学校	1	1
22 私立神奈川学園高等学校	1	1
23 県立富山中野高等学校	2	9
24 県立葦崎高等学校	8	28
25 県立藤枝北高等学校	2	10
26 星陵高等学校	1	6
27 県立豊田西高等学校	3	14
28 名城大学附属高等学校	4	8
29 府立洛北高等学校	4	14
30 府立嵯峨野高等学校	2	7
31 私立花園高等学校	1	1
32 県立小野高等学校	11	46
33 県立青翔高等学校	2	6
34 県立米子東高等学校	1	4
35 県立益田高等学校	1	2
36 県立岡山一宮高等学校	1	3

学校名	演題数	生徒数
37 私立清心女子高等学校	2	4
38 広島大学附属高等学校	2	9
39 県立広島国泰寺高等学校	3	8
40 県立広島高等学校	6	22
41 県立下関西高等学校	1	6
42 県立西条高等学校	4	16
43 明德義塾高等学校	1	7
44 県立小倉高等学校	3	5
45 県立新宮高等学校	11	48
46 県立香椎高等学校	1	4
47 県立福岡高等学校	4	21
48 県立明善高等学校	10	52
49 県立久留米高等学校	2	14
50 県立鞍手高等学校	2	3
51 県立柏陵高等学校	6	32
52 福岡雙葉高等学校	1	2
53 私立明治学園	5	17
54 私立大濠高等学校	1	1
55 私立城東高等学校	10	34
56 私立祐誠高等学校	1	6
57 県立鳥栖高等学校	3	7
58 県立致遠館高等学校	7	29
59 県立大村高等学校	10	30
60 県立第二高等学校	1	3
61 県立日田高等学校	10	27
62 県立宮崎南高等学校	6	21
63 県立甲南高等学校	6	21
64 県立鹿児島中央高等学校	6	25
65 県立錦江湾高等学校	1	4
66 神村学園高等部	7	25
67 鹿児島第一高等学校	2	2
68 県立向陽高等学校	8	33
昌平中学高等学校 西海学園高等学校、福岡上智高等学校	見学	

成績 (主要15タイトル)

県	学校名	発表演題	賞
鹿児島県	県立甲南高等学校	色覚異常について 一色識別補助, 理解向上のためにー	ノーベル最優秀賞
宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	過酸化水素によるクルクミンの酸化反応	ノーベル優秀賞
福岡県	県立明善高等学校	使用済みカイロを用いた化学電池の作製	ノーベル優秀賞
東京都	都立小石川中等教育学校	完全順列の特徴	ノーベル優秀賞
北海道	市立札幌開成中等教育学校	植込み型左心室補助人工心臓使用時のドライライン感染症予防に関する研究	ノーベル奨励賞
宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	被災地支援を目的としたローバーの自立制御プログラムの開発	ノーベル奨励賞
長崎県	県立大村高等学校	五島産カワヨシノボリの表現型と生殖的隔離の可能性について	ノーベル奨励賞
大分県	県立日田高等学校	SUNSHINE SATELLITE HATSUDEN	ノーベル奨励賞
山形県	県立鶴岡南高等学校	超音波スピーカーを用いた遅延聴覚フィードバックに関する研究	ノーベル奨励賞
北海道	市立札幌開成中等教育学校	避難所生活での最強ファッション	リケジョ最優秀賞
京都府	府立洛北高等学校	舞い落ちる自然の神秘～雪の結晶構造による落下時間の違い～	リケジョ優秀賞
長崎県	県立大村高等学校	オカミミガイの産卵期と食性について	リケジョ奨励賞
神奈川県	県立横浜緑ヶ丘高等学校	海浜植物ハマボウフウの保全に向けた生育条件調査	ポスター賞
広島県	広島大学附属高等学校	ひよこ豆を用いたメレンゲの代替素材の検討	ポスター賞
福岡県	城東高等学校	流星の軌道解析Ⅲ part1～流星群と散在流星の母天体を探る～	ポスター賞

審査員賞（研究の発展や深化が今後期待され、高校生らしいパッションが感じられものを選びました。）

県	学校名	発表演題	グループ
岩手県	県立釜石高等学校	廃棄わかめのアルギン酸の有効活用	授業科目
茨城県	県立下館第一高等学校	溶けた金を取り出す	部活動
茨城県	土浦日本大学中等教育学校	ミントがキイロシヨウジョウバエに与える影響	総探
埼玉県	県立本庄高校	チャコウラナメクジの視覚ならびに学習と健忘Ⅱ	部活動
埼玉県	県立大宮高等学校	ナメクジの光熱刺激とメタアルデヒド刺激による忌避学習について	部活動
埼玉県	県立熊谷西高等学校	冷凍を用いたナノセルロースの作成	部活動
埼玉県	細田学園高等学校	新しい抗菌製品	授業科目
埼玉県	山村国際高等学校	ビターチョコレートでスキンケア（日焼け予防）！	部活動
千葉県	市川高等学校	玄武岩中の鉄イオン溶出から考察する温泉水の生成過程	授業科目
東京都	都立八王子東高等学校	数学的な観点から、かぎ針編みで星型を正確に編むための方法を考える	個人
東京都	都立向丘高等学校	水草の根と葉からの栄養吸収による成長スピードの違い	部活動
東京都	都立多摩科学技術高等学校	ダブルスキン構造を他の構造物に応用する	授業科目
神奈川県	県立平塚中等教育学校	バレエのパフォーマンス向上のために～バレエの前にストレッチをすることの意味とは～	総探
神奈川県	神奈川学園高等学校	水俣病とメチル水銀	総探
富山県	県立富山中高等学校	ガウス加速器における運動量保存則	部活動
山梨県	県立韮崎高等学校	カプトムシの腸内細菌	部活動
静岡県	県立藤枝北高等学校	幻の種を救い出そう～在来雑穀の発芽についての研究Ⅱ	農業クラブ
愛知県	名城大学附属高等学校	アゾトバクター属の単離と窒素固定の条件に関する研究	授業科目
京都府	府立嵯峨野高等学校	最後の一粒をすくえ！	総探
京都府	花園高等学校	AI 活用による鋼材の火花試験の自動化の可能性	総探
兵庫県	県立小野高等学校	スマレ属、ミヤマスマレ節の関係に迫る！	部活動
岡山県	清心女子高等学校	岡山県高梁市におけるニホンリスの生息調査	部活動
広島県	県立広島国泰寺高等学校	アサリの持つ浄化能力	部活動
広島県	県立広島高等学校	段差状の構造の水路に流した水の振る舞い	部活動
愛媛県	県立西条高等学校	高校生にとって望ましい法教育とは～法曹関係者への取材・模擬裁判の授業実践から～	授業科目
福岡県	県立小倉高等学校	ヘロン公式の多角形への拡張	総探
福岡県	県立新宮高等学校	一筆書きを用いた最短経路の考察	授業科目
福岡県	県立香椎高等学校	交替性転向反応 ～ダンゴムシの動きに迫る～	部活動
福岡県	県立福岡高等学校	ナメクジの二次条件付けにおける記憶力について	部活動
福岡県	県立鞍手高等学校	遠賀川の水位予測モデルの研究	部活動
福岡県	県立柏陵高等学校	素人が簡単な方法で野草の同定をした場合の信頼度	授業科目
福岡県	明治学園高等学校	竹材の有効利用～防ナメクジ剤～	部活動
福岡県	福岡雙葉高等学校	医学的検証に基づいた新しい働き方の提案	総探
佐賀県	県立鳥栖高等学校	発電菌による発電を考察するⅡ	部活動
佐賀県	県立致遠館高等学校	植物の持つ抗真菌作用	授業科目
大分県	県立日田高等学校	昆虫食を身近に	授業科目
大分県	県立日田高等学校	一人暮らしの祖母の安全のために自分がすべきこと	家庭クラブ
熊本県	県立第二高等学校	陳皮の種類の違いによる成分の違いとその効果について	総探
宮崎県	県立宮崎南高等学校	なぜ日本人は英語ができないのか？ どうしたらできるようになるのか？	総探
鹿児島県	県立鹿児島中央高等学校	廃線と廃校を活用した地方創生	総探
鹿児島県	県立錦江湾高等学校	パール桜島の観測を目指して～鹿児島の魅力を世界へ～	部活動
鹿児島県	神村学園高等部	灰詰まりに適した雨樋作り	総探
鹿児島県	鹿児島第一高等学校	身近に起こる精神疾患について	総探
沖縄県	県立向陽高等学校	沖縄の植物を用いた水質浄化	授業科目